

3/28 市と千歳市交通安全母の会がグッズ贈呈  
新入学児童の交通安全を願う



4月から小学生になる児童に交通安全グッズを贈呈するため、市と千歳市交通安全母の会が贈呈式を開催しました。新入学児童代表として贈呈式に出席したのは、認定こども園ひまわりの園児6名。夜光反射材を使った交通安全のお守りと蛍光色のカバーをランドセルに着けて、「ぼくたち、わたしたち、交通ルールを守って小学校に通います」と元気に約束してくれました。北栄小学校に進学する喜多 穂さんは、通学時に気をつけることに「信号が青になっても、まず右と左を確認してから渡ることを挙げ、「いろいろな物を作ることと研究することが好きなので、小学校では理科の勉強を頑張りたい」と入学の抱負を話しました。

3/25 すごろくでお金の知識を身につけよう  
金融リテラシー教室



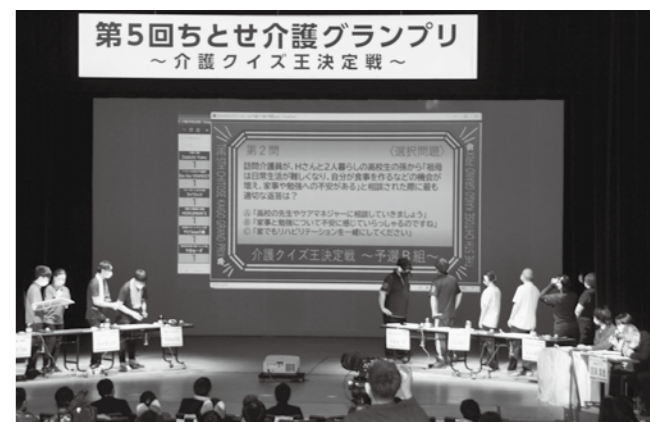
ゲーム形式でお金の知識を学ぶ《金融リテラシー教室》が北ガス文化ホールで開催され、市内の小学生20人が参加しました。教室は、子どものうちから金銭感覚やお金の知識を身につけてもらおうとJr.Chitose実行委員会が主催したもので、第一生命保険(株)の石黒 菜摘さんを講師に招いて行われました。ゲームはすごろく形式のライフサイクルゲームで、途中で発生するライフイベントや金融資産の購入といった場面でさまざまな選択をしながら、定年退職までにどれだけの資産を形成できるかを競うものです。堀 沙月さん(末広小5年)は、グループ内トップの資産を形成し、億万長者に。その決め手として「金融資産を買ったことが大きかった」と分析し、「もし本当にこんなお金があったら、家を買いたい」と話しました。

3/10 市民憲章普及作文コンクール  
稗畑 堅太郎さんに最優秀賞



千歳市民憲章推進協議会(沼田 常好 会長)が主催する市民憲章普及作文コンクールにおいて、富丘中学校2年(受賞時は1年)の稗畑 堅太郎さんが最優秀賞を受賞しました。作品は《夢と誇り、我が町千歳》と題し、幼少期に子育て総合支援センターに通ったことで得た出会いや体験を紹介し、恩返しとして「このまちの素晴らしさを伝えたい」と決意を述べた力作です。表彰状を受け取った稗畑さんは作品について、「母に聞いたりして思い出しながら書きました」と振り返り、幼少期をテーマに選んだことについては、「自分にとって千歳といった小さい頃からの思い出。思い出せないことも多く苦労したが、頑張ってよかった。受賞できてうれしい」と話しました。

3/18 介護クイズ王が決定!  
第5回ちとせ介護グランプリ



介護の仕事の魅力を広く知ってもらおうと平成28年から開催している《第5回ちとせ介護グランプリ》が開催されました。3年ぶりの開催となった今年は、千歳市や北広島市などの介護・医療関係機関から16チームが参加し、日ごろの仕事でつちかった知識をクイズ形式で競い合い、会場は大きな盛り上がりを見せました。優勝チームの千歳第一病院《チーム Daiichi Yoko》の緒方 なつ江さんと堀越 美来さんは、「初出場で、たくさん学ぶことがあった。優勝することができ明日から安心して仕事ができる。楽しい時間を過ごせた」と笑顔で感想を述べました。

3/25 千歳科学技術大学・大学院 学位記授与式  
240人が新たな一歩



千歳科学技術大学・大学院の学位記授与式が北ガス文化ホールにて執り行われ、220人の学部学生と20人の大学院生が、新たな一歩を踏み出しました。上の写真は、ともに情報システム工学科を卒業した西澤 圭佑さんと津屋 菜々美さん。4月から航空業界に進む西澤さんは、学生時代の思い出として4部だった野球部を1部に昇格させたことを挙げ、「学年の垣根を越えて部員同士が話しやすい環境を作れたことが、チーム力に繋がった」と振り返りました。セキュリティ関係のプログラミングを専攻し、4月から公務員になる津屋さんは「気持ちを強く持って頑張りたい」と堂々とした様子で社会人の抱負を語ってくれました。



**人のうごき**

《総人口》  
96,965人 (-551)  
男性 49,182人 (-430)  
女性 47,783人 (-121)  
《世帯》51,290世帯 (-86)

( )内は、前月との比較です。

4-1 現在

新連載 **ちとせ空港 百年物語**

Vol.00 プロローグ 序章 100年の軌跡

1926年10月、千歳村民は、「飛行機を間近で見たい」との思いを原動力として、鋸と鋤を手に一本の着陸場を造成しました。

村民の熱意と努力によって生まれた着陸場は、時代の経過とともに発展し続け、今では《北海道の空の玄関》と呼ばれるようになり、まもなく開港100年を迎えようとしています。(2026年10月)

この《ちとせ空港百年物語》では、これまで新千歳空港が紡いできた歴史をテーマに、そのターニングポイントと



なったできごとや、先人たちが重要な局面でどんな決断をしたのかなど、その瞬間瞬間にフォーカスし、紹介していきます。

千歳村民が夢を託した小さな着陸場が、現在の新千歳空港の姿になるまでの軌跡。その100年にわたる歴史を振り返ります。

**広報ちとせからのお知らせ**

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしついでないを問いません。

広報広聴課 広報係  
☎(24)0104 FAX(22)8851



まちのできごと・マンスリーでお知らせします。